

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートsorauta.			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日 ~ 2026年 1月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日 ~ 2026年 1月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	026年 2月 10日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援	保護者へ向けて、面談を行い話を聞く場面は都度必要な際に行っている。 モニタリングに合わせて、保護者の困っている児童に姿に対し子育て支援を行っている。	話を聞くだけではなく、施設で行っている支援内容のお伝えや共有をしっかりと行い。 児発管や管理者のみではなく、すべての職員が保護者へお伝えし、家でできる支援の伝達や改善策を模索し、より良い支援を発信していく事。
2	保護者会やイベント開催、兄弟児の支援	保護者会を年2回、児発イベントや放ディイベントを年1回以上開催し、児発・放ディの保護者や兄弟の参加も促し、その際にお互いに話をする時間や交流する機会を作っている。	参加人数を増やすように、保護者の方々の興味関心と集まる時間や曜日などを合わせて内容を踏まえて再設定していく。
3	生活空間は、運動する広い部屋と机上活動を行う教室の様に分かれた構造となり、気持ちの切り替えや活動に合わせた環境になっている。	運動部屋は、物を配置せず刺激を少なくした配置にしており、机上部屋は、学校や園の教室の様にトイレや手洗い場、机が常に配置されていて、各々の部屋に気持ちを切り変えたり落ち着かせる個室を配置しているので、活動に入れない時も、各々の部屋でみんなを見ながらスムーズに後から参加できる様にしている。	活動の様子や活動の種類などに応じて部屋を分け、保護者会等でも、活動中の環境設定などについてもお話しする機会を設けて保護者にもわかりやすい環境設定の共有を図りたいと思う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置や職員の名前をしっかりと保護者へお伝えし、職員紹介や新年度の職員の移動・新入社員などが入った際の情報の伝達をしっかりとお伝えしていくこと。	職員配置や職員の名前を事業所内に掲載はしてあるが、しっかりと周知できていない。 (特に新入社員の採用時、職員の移動、アルバイト・パートの採用などが多くあり、都度都度情報共有できていない)	以前行っていた、職員紹介の手紙(顔写真付きの自己紹介)の配布を行い、新入社員の採用時や退職があった際は改めて、職員配置をお伝えする事をしっかりとしていく。
2	定期的にSNS等で、活動概要や行事予定の情報や業務に関する事をこどもや保護者に対して発信していく事	隔月で放ディと児発の活動中の写真や活動のねらいを保護者へ配信しているが、児童の事業所での細かい様子や子ども同士の関わりが見える様な写真でお伝えし、関わりや活動の様子や表情などがわかる様に発信していく。	活動や様子を毎回必ずお伝え出来無いが、話をする際には「活動内容と様子(表情ややり取りの様子)」を簡潔に具体的に保護者や園の先生などにお伝えするスキルを職員にも、身に付けてもらうよう、研修をおこなって行く。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を増やし、保護者と一緒に支援を行い、支援の共有をより行う。	家族支援がうまく行えていない。 職員研修を行い、家族支援の研修を行いスキルアップして、情報共有の場を多く設けられるようにしていく。	ペアレントトレーニング等を取り入れて行ける様に、受講した職員から職員研修を行ってもらい開催できるようにしていく。また、家族支援を保護者が何を求めているかを把握し、色々な情報の共有の場を多く設けられるように情報の収集もしっかりと行っていく。